

議会だより



# だいせん

No. 16

2009年(平成21年)6月11日発行



新茶を摘む乙女たち(陣構)

新体制スタート	2
平成21年度当初予算決まる	4
あなたの声を町政に(8議員が一般質問)	10
議会議員政治倫理条例を制定	18
みんなのひろば「声」	20



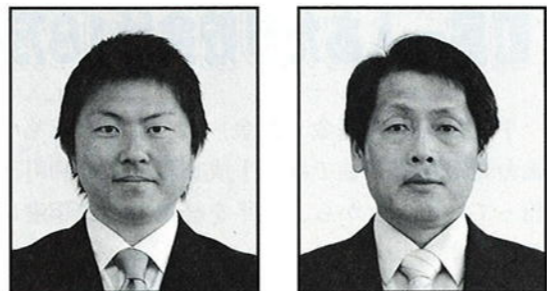
小原 力三 議員    岡田 聡 議員    椎木 学 議員    鹿島 功 議員    西山 富三郎 議員



西尾 寿博 議員    吉原 美智恵 議員    岩井 美保子 議員    諸遊 壤司 議員    足立 敏雄 議員



大森 正治 議員    杉谷 洋一 議員    野口 昌作 議員    池田 満正 議員    近藤 大介 議員



竹口 大紀 議員    米本 隆記 議員

## 議員紹介と 委員会構成

<b>議会運営委員会</b>	議会を効率的かつ円滑に運営するため設置されています。		
委員長/足立敏雄	副委員長/鹿島 功	委員/小原力三・諸遊壤司・西尾寿博・岡田 聡	
<b>総務常任委員会</b>	総務課・中山、大山総合窓口課・税務課・人権推進課・企画情報課・地籍調査課・会計課に属する事項について所管します。		
委員長/小原力三	副委員長/近藤大介	委員/西山富三郎・岡田 聡・野口昌作・杉谷洋一・荒松廣志	
<b>経済建設常任委員会</b>	農林水産課・建設課・水道課・観光商工課・大山振興課・農業委員会に属する事項について所管します。		
委員長/西尾寿博	副委員長/岩井美保子	委員/鹿島 功・椎木 学・大森正治・米本隆記	
<b>教育民生常任委員会</b>	教育委員会・福祉保健課・住民生活課・診療所に属する事項について所管します。		
委員長/諸遊壤司	副委員長/吉原美智恵	委員/足立敏雄・池田満正・竹口大紀・野口俊明	
<b>議会広報調査特別委員会</b>	議会広報「議会だより」の編集発行をします。		
委員長/西山富三郎	副委員長/大森正治	委員/池田満正・杉谷洋一・米本隆記・竹口大紀	

# 新体制スタート!!

大山町議会は5月11日、改選後初となる臨時議会を開き、議長に荒松廣志議員、副議長に野口俊明議員を選出しました。また、常任委員会や議会運営委員会なども選任し、議会の組織体制を整えました。



副議長 野口 俊明



議長 荒松 廣志

### 議長就任あいさつ

このたびの臨時議会におきまして、議員のみなさんのご推挙をいただき、議長の要職に就任させていただきましたことは、浅学菲才なわたくしには、身に余る光栄であり、その職責の重さを改めて痛感するものであります。

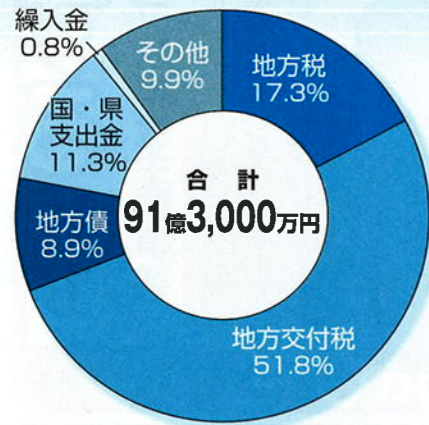
議会の運営につきましては、執行機関と議会のそれぞれの持つ権限を尊重しつつ、開かれた議会、公明・公正で分かりやすい議会の実現に向けて努めてまいり所存であります。

現下の町政は、行財政改革をはじめ地域の活性化、経済対策等、課題山積であります。町民の皆様のご意見を尊重し、議会と執行機関は互いに切磋琢磨し、町民の信託に応えられるよう、努力してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 一般会計は91億3,000万円

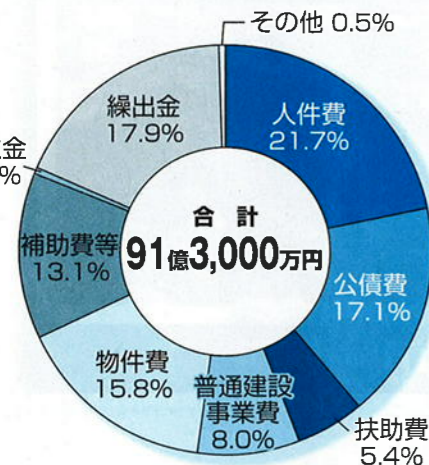
前年度対比は率で4.7%、額で4億5,000万円の減

## 一般会計歳入

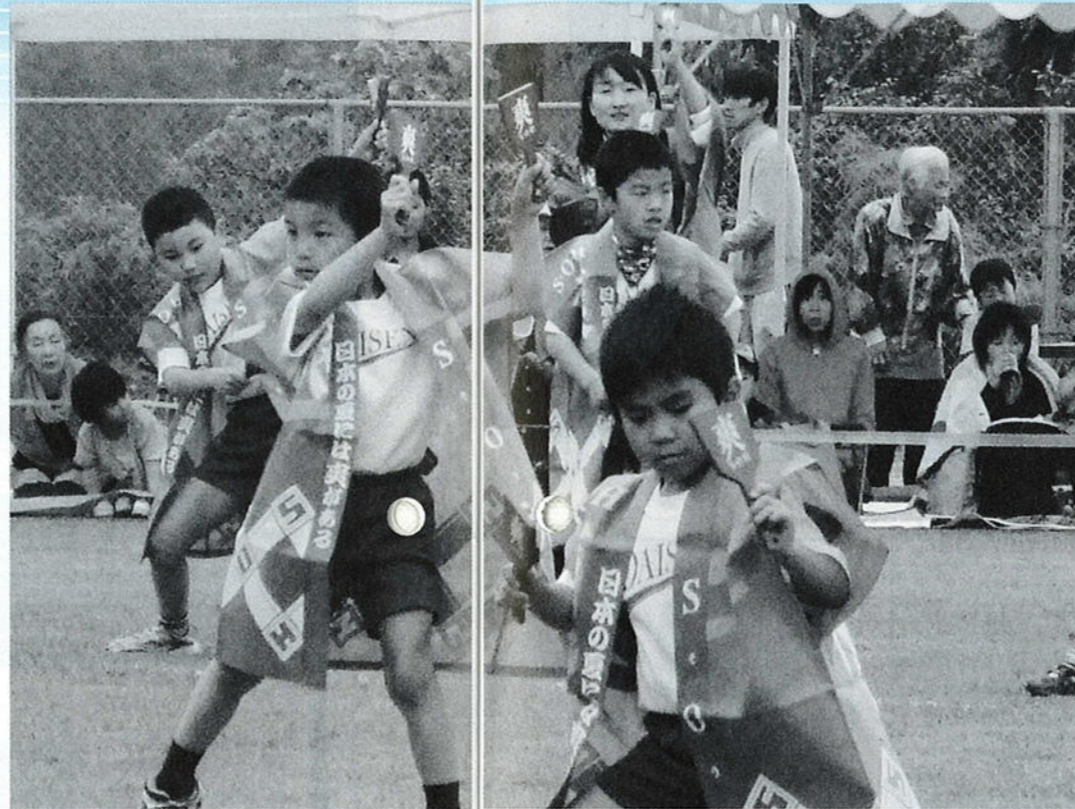


地方税 (町民税や固定資産税等の税金)	15億7,534万円
地方交付税 (市町村の均衡を図るため国が交付するお金)	47億3,000万円
地方債 (特定の事業のために借り入れる借金)	8億1,190万円
国・県支出金 (国や県が特定の事業に交付するお金)	10億2,802万円
繰入金 (基金(貯金)を取崩したお金)	7,409万円
その他 (譲与税・使用料・諸収入など)	9億1,065万円
<b>合計</b>	<b>91億3,000万円</b>

## 一般会計歳出



人件費 (給料や報酬などに使うお金)	19億7,990万円
公債費 (借金を返済するためのお金)	15億5,859万円
扶助費 (医療費助成や支援のために使うお金)	4億9,109万円
普通建設事業費 (道路の整備や建物などの整備に使うお金)	7億3,515万円
物件費 (業務委託料・消耗品費・借上料などに使うお金)	14億4,280万円
補助費等 (各種団体などへの負担金・補助金)	11億9,422万円
積立金 (基金(貯金)を積立てるためのお金)	4,439万円
繰出金 (特別会計を支援するために繰出すお金)	16億3,458万円
その他 (維持補修費・貸付金など)	4,928万円
<b>合計</b>	<b>91億3,000万円</b>



「ヤーレンソーラン」力強く躍る子供たち

# 改選期により

# 骨格予算

3月定例議会は、3月3日から13日までの11日間の会期で開かれました。4月に任期満了による町長選挙が予定されていたので、平成21年度予算は※骨格予算として提案されました。  
平成21年度一般会計、特別会計、事業会計など21会計の当初予算と条例改正などの36議案、平成20年度一般会計補正予算など23議案が全会一致で原案のとおり可決しました。  
一般質問には、8人の議員が恵みの里づくり計画や経済対策、農業振興などに活発な議論を展開しました。

※骨格予算：人件費、扶助費、公債費などの義務的な経費や、政策的な経費であっても継続的に取り組んでいる事業、早期に予算付けが必要な経費など必要最小限の経費を経常したもの。政策的な経費や新規事業費などについては、その後の補正予算で肉付けされる。

## 町民一人あたり貯金は18万円(2万円増)、借金は128万円(5万円減)！！

平成21年度の基金(貯金)は、各会計とも骨格予算ということから、あまり大きな変動はありませんが、特別会計の風力発電事業基金では、平成16年度に名和町が行った風車建設の際に、建設費の一部を、町民からの公募債5,000万円で賄っていたことから、5年を経過した21年度に、その償還の時期を迎えたため、基金の全額4,431万円を取崩す予定にしています。

町債(借金)のうち、一般会計では、旧3町で行われた「ふるさとフォーラムなかやま建設事業」「花街道整備事業」「保健福祉センターだいせん整備事業」等の借金の返済が終わったことから、前年に比べ、5億3,993万円減少しています。特別会計でも、公共下水道や農業集落排水施設整備の完了により、8億9,149万円減少しており、町債借入額の抑制効果とともに、財政は健全な方向に向かいつつあるようです。

### 町債残高内訳 (平成19年度～平成21年度見込)

会計名	19年度末現在高	20年度末現在高(見込)	21年度末現在高(見込)	増減額	
一般会計	124億3,689万円	122億1,312万円	116億7,319万円	△ 5億3,993万円	
特別会計	住宅新築資金等	1億5,076万円	1億2,648万円	1億3,307万円	△ 2,341万円
	情報通信	19億2,133万円	17億6,999万円	14億9,269万円	△ 2億1,430万円
	簡易水道	3,846万円	3,636万円	3,421万円	△ 215万円
	公共下水道	49億6,330万円	47億3,978万円	45億9,588万円	△ 2億3,020万円
	農業集落排水	55億5,412万円	53億4,767万円	50億4,091万円	△ 2億6,385万円
	風力発電	2億4,951万円	2億3,416万円	1億6,857万円	△ 6,559万円
	宅地造成	2億7,475万円	2億1,845万円	1億6,215万円	△ 5,630万円
	国保直診	6億2,348万円	6億7,278万円	6億3,976万円	△ 3,302万円
	介護	7,146万円	7,146万円	6,879万円	△ 267万円
	小計	138億4,717万円	131億1,122万円	122億1,973万円	△ 8億9,149万円
合計	262億8,406万円	253億2,434万円	238億9,292万円	△ 14億3,142万円	

### 基金・町債残高 (平成19年度～平成21年度見込)

区分	19年度末現在高	20年度末現在高(見込)	21年度末現在高(見込)
基金(貯金)残高	一般会計	24億5,489万円	28億4,281万円
	特別会計	6億9,520万円	5億8,825万円
町債(借金)残高	一般会計	124億3,689万円	122億1,312万円
	特別会計	138億4,717万円	131億1,122万円

## 心豊かな生活創造

### 太陽光発電導入助成

県の市町村交付金(補助率1/2)を活用して、家庭に自然エネルギーである太陽光発電の導入を支援し、地球温暖化防止や環境にやさしいまちづくりの推進に取り組む。



280万円

### 自主防災組織育成

自主防災組織は「自分たちの地域は自分たちが守る」という地域住民により結成された任意の組織で、防災意識の高揚と、地域の防災力を向上させるため、各集落に設置をめざす。



180万円

## 町民と行政の協働

### 国際交流の推進

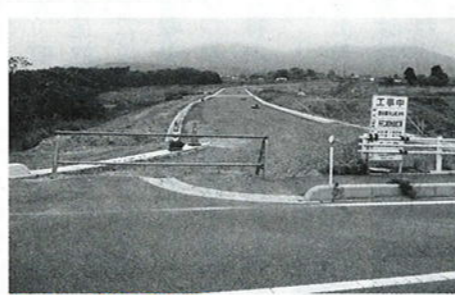
姉妹校縁組や友好都市協定を締結した、学校や自治体などと、経済・教育・文化を通じて交流を深め、国際性豊かな町民の育成や多文化の理解に努める。



839万円

### 町道所子中高線整備

周辺地域と所子工業団地の利便向上のため、道路の拡幅・新設と二車線化を図るもの。21年度は、総延長720メートルのうち、460メートル部分の整備を行う。



5,320万円

## 産業・雇用の活性化

### 農地・水・環境保全向上活動支援事業

農業生産の基礎となる農地や農業用水をはじめ農村の環境や美しい景観を、農業者のみならず地域ぐるみで守り支えていく活動を支援する。(実施予定は36集落。)



2,749万円

### 雇用創出事業

地域の人材が持つ知恵や技術を活かし、地域で活躍できる仕組みづくりや、経済不況のなか、緊急雇用対策として、国の交付金を受け、行政自らが率先して町民の就労の場を提供する。



1,470万円

## 大山町総合計画

基本理念 ~大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり~



### まちづくりの目標

- 安心定住の実現** ~地域でつながり支え合う健康と福祉のまちづくり~
- 個が輝く教育文化** ~地域の特性を活かし、共生する教育文化のまちづくり~
- 心豊かな生活創造** ~自然と調和した快適な生活空間を実現するまちづくり~
- 町民と行政の協働** ~一人ひとりが大切にされ、活かされる協働のまちづくり~
- 産業・雇用の活性化** ~本町の特性を活かし魅力ある産業を展開するまちづくり~

何をやるの？  
クローズアップ21年度主要事業  
「大山町総合計画」に基づいた、「まちづくりの目標」別に主要事業を紹介いたします。

## 安心定住の実現

### 福祉タクシー

民間タクシーを利用して、公共交通機関などの利用が困難であるため、閉じこもりになりがちな高齢者や障害者のみなさんの外出支援や住み慣れた地域での自立支援を行う。



269万円

### 地域子育て支援センター

親子交流や地域交流の場として開放し、また遊びや読み聞かせを中心とした交流を通して、子育て家庭の地域における仲間づくりの促進や児童の健全な育成を図る。



418万円

## 個が輝く教育文化

### 大山西小学校大規模改修

国の安全・安心な学校づくり交付金(補助率1/2)を活用して、大山西小学校の耐震補強工事、大規模改修工事を行うための実施設計委託費に充てる。



1,666万円

### 読書活動推進

図書館、保育所、小学校などと連携し、子どもたちの成長に合わせ「ブックスタート」や「ブックセカンド」などの読書活動を推進して、「家庭に本のあふらし」の定着を図る。



310万円

# 条例・予算の質疑

## 条例

### 介護保険条例

問 (近藤議員)

基準額を増やさざるを得なかった根拠と、介護予防の取組みは。

答 (戸野福祉保健課長)

介護サービス量に応じ3年ごとに見直すもの。介護従事者の待遇改善、介護報酬の3%が改定されることと、保険者の人口割合が変化し、負担が増えた事が主な要因。全てのサービスにおいて、介護サービス量増加と高齢化の進行という状況。中山温泉の歩くプールの設置も含め、更なる介護予防に努める。

問 (西尾議員)

近隣の類似町との比較と、延滞金利息14・5%は高いのではないか。

答 (戸野福祉保健課長)

大山町の介護保険料は県内で、低いレベルにある。利息の率は介護保険法に決められている。

## 指定管理(観光交流センター)

問 (岩井議員)

指定管理委託料をゼロにできなかったか。また、5年後、独立採算がとれる見込みは。公社はもっと努力をすべき。

答 (福留大山振興課長)

指定管理委託料の算定は、公共施設の部分は町管理、収益が上がる部分は指定管理者が自助努力により運営経費をまかなうものと考えている。施設を見ると公共的(トイレ、駐車場、休憩施設、観光案内等)なものがかんりの面積を占めている。

答 (山口隆之町長)

物販、情報のアンテナショップ的役割。独立採算、ここで完結する施設という考えでなく、ここを基点にもっと大きな経済の活性化、収益につながる役割を果たさなければならぬと考える。とはいえこの運営は公社の収益でまかなえるような努力は行っていかねばならない。公の役割を担っているというご理解を。

## 平成21年度一般会計予算

### 歳出

#### 路線バス

問 (諸遊議員)

町内路線バスの乗車率が悪い。町から率先して乗車率向上の行動を。

答 (野間企画情報課長)

取組みを考えてみたい。

#### 消費者相談

問 (遠藤議員)

消費者行政活性化交付金を使いくような事業を行っているか。

答 (小西住民生活課長)

振り込め詐欺、架空請求、多重債務等、様々な悪徳商法が蔓延している中で、住民の安心、安全を守る対策として、この交付金を用い相談窓口を設ける。

#### 農業振興

問 (秋田議員)

農地・水・環境保全事業と中山間地事業の取組み集落数と、中山2期地



観光交流センター (道の駅「大山恵みの里」)

区県営畑地対策総合整備事業の説明を。

答 (池本農林水産課長)

農地・水・環境保全事業、中山間地事業共に36集落、重複は4集落。中山2期の畑総事業は、下蚊屋から水を引くための管路工事。報国、羽田井工区、八重工区が予定されている。

問 (岡田議員)

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業費負担

#### 畜産業

問 (西山議員)

公害防止対策協議会は

農林水産省と協議を進めてきた。このたび、国の景気対策により有利な財政措置が行われる事を踏まえ、急ぎよ実施することになった。

問 (近藤議員)

地元の農業、水産業にどういったメリットがあるか。

答 (山口町長) 規格外のものでも商品化され、加工することにより付加価値も高まる。また、冷凍、レトルトにすることにより出荷時期の調整、安定供給が図れる。

## 消費生活相談窓口



4月に開設された消費生活相談窓口 (本庁・住民生活課)

何集落で構成されているか。また、どのような活動を、どのように地域の活性化に役立っているのか。

答 (池本農林水産課長)

畜産団地周辺に位置する8部落の中で構成される公害対策協議会。年に2回、施設の立ち入り検査等の監視を行い、要望、改善事項があれば協議を行う。地域の方は放流水の問題等に不安をもってあり、河川についても監視を行う。

## 大山振興

問 (吉原議員)

大山参道ギャラリート、モンベルフレンドタウンの負担金の内容。

答 (福留大山振興課長)

大山参道ギャラリオの光熱水費と人件費。運営は地元自治会、参道振興会、観光協会で行われ、町も重要なメンバーであり積極的に関与。大山のモンベルは直営店でありその年会費。全国の会員会報等に大山が紹介される。

## 雇用対策

問 (野口議員)

緊急雇用創出事業の嘱託、臨時作業員賃金の内容。

答 (小谷観光商工課長)

認知症を地域で見守る活動推進事業の嘱託職員、臨時職員賃金は、食育計画の策定、路線バス、町営バス利用実態調査、農家台帳整備調査。作業員賃金は町道農道等維持作業。

## 職員給与

問 (近藤議員)

職員との取り決めの給与3%カットが平成20年度で終わる。景気不況の中引き上げる状況でない。その後の取組みは。

答 (山口町長)

職員給与は非常に制限されており、昇給もほとんどないのが現状。責任を持てる3月末までの期間は終わる。労使合意の中での給与との定めから、次の責任ある立場になった時、議論すべき課題と考える。

## 平成21年度公共下水道事業特別会計

問 (西尾議員)

予算から接続目標20件と判断できるが、接続率を上げるのに目標が低いのではないか。接続率を上げるための、加入金の一括、分割の支払い方法等を含め、具体的方法はないか。

答 (松田水道課長)

20年度は80件の目標に対し56件の加入、そのうち前期が50件、後期が6件と今の経済不況の影響を受けた結果となったため、現実に近い数字を計上した。接続率向上の取組みは、広報によるPR、部落、住民説明会を行い。加入金30万円を各家庭からいただくが、家の改造費の方が高くなる。その負担に耐えられないかが問題。分割支払は滞納が予想されるので、一括支払が最良と考える。

## 平成20年度一般会計補正予算

問 (椎木議員)

農産物加工施設整備の提案が行われたのか

答 (山口町長)

大山恵みの里づくり計画のハードの部分の大きな計画のひとつが観光交流センター、もうひとつが農産物加工施設である。この施設整備は大山町総合計画にも載っており以前から実現に向けて

## みなさんからの陳情はこうなりました

3月定例会議で常任委員会に付託された陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

陳情の名	町有林の整備、管理についての要望
陳情者等	大山森林組合 代表理事組合長 奥田 隆夫
委員会の意見	森林の持つ木材生産、国土保全、水源涵養等の多面的な機能を発揮させるため、持続的な森林整備、管理を行う必要性は理解できるものの、陳情者の受託計画が漠然として、趣旨採択と決した。
付託委員会名	経済建設常任委員会
審査結果	趣旨採択

# あなたの声を 町政に

一般質問は、8人の議員が14項目にわたり諸問題を質しました。



近藤大介議員

## 観光施設整備後のビジョンは

### 情報発信で面的広がりを推進

**問** 大山恵みの里づくり計画の状況と今後の展開について問う。  
お魚センターみくりやの状況、4月完成の観光交流センターの役割など、施設整備後のビジョンと、観光物産振興の見通しは。また、大山恵みの里公社の事業実績の状況、今後の事業展開は。

**答** (山口隆之町長) 昨年11月オープンのお魚センターみくりやは、御来屋漁港で水揚げされた新鮮な魚介類を安価で提供し、町内外から多数のお客様に利用頂いている。2月末までの利用客数は、直売で約1万3千人、食堂が約5千人。観光交流センターは、



道の駅「大山恵みの里」4月4日オープン

単なる休憩所、直売所、食堂ではなく、広く本町の旬の情報や優れた物産を来訪者に周知し、町内での滞在時間を延ばし、ひいては町内での消費拡大を図ると共に、アンテナショップとして消費者の嗜好等の情報収集と本町産品の認知度向上を図っていくのが大きな役割であると認識している。他の施設と相互に密接に関連し、お互いがお互いの情報を発信し合うことで、相互補完にとどまらず相乗効果を持ち、町の魅力がより一層高まり、一部地域のみ集中していた観光客の面的な広がりが推進されるものと考えている。

今後、金融機関や農協などの支援を受けながら販路拡大を継続し、良質な産品を安定供給していくために生産者組織の拡充を図っていきたい。今年度策定するブランド認証基準の徹底により、更なる大山ブランドの強化、道の駅の運営を通じた体力強化、経営ノウハウの取得、新たな商品開発の着手など攻めの姿勢で積極的に前進していきたい。

大山の恵みの里づくり計画は決して産業活性化計画だけではなく、教育とか文化・歴史もこの中に盛り込まれている。総合的な大山の魅力、外部の方々に、町民みんなが発信をしていくことが、町民総参加のまちづくりであり、この計画の目標であると思っている。



岩井美保子議員

## 大山町の街なみが消える?!

### 非常に憂慮している

**問** 最近、中小企業、商店が次々と閉鎖をされた。こんな事では「いけん」と思いながらも結局支援することができなかった。①商工会での支援は。②行政での支援は。③これからの対策はあるのか。④しばりない補助金もあったが、対策は講じられなかったのではないか。

**答** (山口町長) ①本所及び支所に「金融

相談窓口」を設置され、委員の業績悪化に対する緊急融資や経営指導などの相談に精力的に対応している。金融斡旋の相談は31件で現在までに27件が融資を受けられた。また、商工会主導によるお買い物券事業に取り組み地元消費の拡大を進めている。②商工会の取組みに対し、可能な限りの支援を行っており、今後も一層連携を密にしながら支援していきたい。

また、セーフティネット貸付の認定や町小口融資業務の事務体制を整備し利用者の方へのきめ細かな対応に努めている。本町の財政規模では個人事業者を含め約600事業所を数える町内事業所に対し直接経済的な支援を行うことは困難であるが、できることから取り組んでいる。③県・商工会・企業連絡会等と連携を図りながら国の緊急対策や県の方策の活用を町内の皆様に積極的に推進しこの苦境を乗り切って行きたい。④お買い物券への支援、町道工事の前倒し等、行政として可能な対策を行った。まちを盛り上げようという機運を皆で持つて、町内消費を促したい。



賑わいの復活を

また、セーフティネット貸付の認定や町小口融資業務の事務体制を整備し利用者の方へのきめ細かな対応に努めている。本町の財政規模では個人事業者を含め約600事業所を数える町内事業所に対し直接経済的な支援を行うことは困難であるが、できることから取り組んでいる。③県・商工会・企業連絡会等と連携を図りながら国の緊急対策や県の方策の活用を町内の皆様に積極的に推進しこの苦境を乗り切って行きたい。④お買い物券への支援、町道工事の前倒し等、行政として可能な対策を行った。まちを盛り上げようという機運を皆で持つて、町内消費を促したい。

## 加工施設を持たず 産品づくりはできないか 町活性化のグランドデザイン

**問** 営利目的の加工施設ならば農協がすべきことだが、行政がすべきことと企業がなすべきことをどのようにお考えか。

**答** (山口町長)

農産物加工施設は大山町総合計画を具現化するための行動計画「大山恵みの里づくり計画」の「特産品の振興拠点」として位置づけられており、観光交流センター、お魚センターみくりや等との取組みの柱の一つとしての重要な役割を担っている。この施設は、町内の優



町内の食材を子供たちへ

れた農産物、水産物を集荷し加工処理を加えることにより付加価値を高め、出荷時期を調整し、生産者所得の向上を目的としている。さらに、安心安全な食材を学校や福祉施設に給食用食材として一時加工した上で納入し、町内産品を地元でも消費していくことも大きな目的でもある。

農協の場合は組合員の利益をはかるという法律の規制がいろいろとあるため、施設を運営する事は困難である。広く住民全体を対象にし、特定の個人ではなく、みんなが力を出し合う事でより多くの成果が期待できる。また、営利を追求するのではなく大山町全体の経済活性化を図るような事業については、行政の力を投入する事により初期投資負担を軽減し広範な広がり発展を求めていくべきものと考えている。



西山富三郎議員

### 地酒「大山恵みの里」の動機は

#### ブランド商品開発の具体化

店と協議しているか。  
共存共栄は出来るか。  
今後の見通しは。

**答** (山口町長)

①公社の主要な任務である、一次農産物の高付加価値化、ブランド商品開発への具体的な取組みの方策として、農商工連携のモデルとなるよう取り

組んだ。併せて本町の土や水の素晴らしさをPRするためのイメージ戦略第1号として、受け入れやすい日本酒を選んだ。道の駅で販売を可能にするため、酒の小売免許を申請中である。

②イメージ戦略としては町内産の米、大山の水と

味についても概ね好評であったが、ラベルにつきもっと高級感を出すべき等の意見があり、改良に着手している。

③9月には一升瓶換算で約1600本の熟成された特別純米酒を販売する計画をしている。

本町には150年も続く角田酒造があり「大和鏡」というブランドがある。中山地区の稲穂の会ではプライベートブランドの「のっかり美人」と「夢語」を持っている。

「大山恵みの里」はこれに続く大山町の第4のブランドとして位置づけ、大山町の地酒をひとくくりにして大山町の地酒はおいしいと、各所で一緒に売り込んでいくことを目的としている。町内30軒あまりの酒屋の役に立てるのではないかと

思う。  
相乗効果を図っていく。

### 公用車のリースを地元

#### できるだけ心がけている

**問** ①何台リースしているか。

②契約の相手は何社か。  
③メンテナンスの状況は。  
④地元業者には出せないか。

**答** (山口町長)

①消防車などの特殊車両を含めて使用車両は107台であり、そのうちリース車両は22台である。  
②リースの相手方は7社である。

③リースは何年か。  
④リースには補助があるか。  
⑤業者の現状を知ること

③メンテナンスについては、63台を町内で、残り44台を町外で行っている。  
④特殊車両は別として、できるだけ地元にと心がけている。  
⑤5年リースで取り組んでいる。再リースの場合は状況により2年とか3年になる。価格落ちは5割から4割である。  
⑥事務費に補助がある。  
⑦町内業者を優先する姿勢は変わらない。



大山町の公用車



吉原美智恵議員

### 地域資源を活かす取り組みは

#### 知識の普及を図っている

にもつながっていく。

町内には、「古事記」に出でくる「スセリ姫」を祀る神社があったり、磨けば光るストーリーを持った地域資源がある。どのように活かしていくのか。

また、この頃空き家が

目立ってきている。ある意味地域資源となり得る

はずだが、荒れてしまふと住民の安全をおびやかすものとなる。所有者と買い手の両方にメリットのある政策的対応はできないか。

**答** (山口町長)

地域資源に対する全町的な知識の普及を図っている。各公民館で大山学講座を開催してきている。観光ガイドボランティアの養成にも努めている。

また、大山僧坊跡や、所子地区伝統建造物群の国の史跡指定を受けるべく調査、研究中である。空き屋対策については、登録のお願いをしている

が、田舎に住みたい人と貸したい人との需要のマッチングが非常に難しい。迎え入れる仕組みづくりが大事である。

### 情報モラル教育の充実

#### 学習の場を設けている

**問** 文部科学省は、1月に全国の教育委員会に、

小中学校への携帯電話持込禁止と学校での情報モラル教育の推進を通知したところである。

この頃、特に携帯電話とインターネットの2大メディアが急速に普及してきたことで、子どもを取り巻く様々な問題が生じてきている。

このような状況の中、学校現場での指導はどのように進めていくのか。また、保護者へも、子供を見守るための啓発活動が必要ではないのか。

**答** (伊澤百子教育委員長)

昨今、学習や、安全のためにと保護者が与えたインターネット環境や、携帯電話によって、児童生徒が様々なトラブルに巻き込まれたり、時には加害者となってしまうという深刻な社会問題となっている現実がある。学校における指導状況は、携帯電話の校内持込は原則禁止としているところである。

また、情報安全教育や、危険回避の側面から、使い方についての外部講師を招いての講話、情報に対しての正しいルールやマナーを学ぶ学習などを設定している。保護者については、家庭でのルールづくりを行うことが重要であり、学校、家庭、地域が連携して児童生徒を見守る体制づくりを行う必要があると思っている。



スセリ姫をお祀りする唐王神社



明るく元気な中学生たち！

## 経済不況の対策は

### 出来ることで支援する



西尾寿博議員

**問** 国の経済不況対策の1、2次補正予算は、町に、棚ぼた式に個人給付金と合わせ6億の特別交付金がおりにくる。

①それに基づいた大山町の補正予算は国の狙いと合致しているか。

②どのような効果が期待できるか。雇用対策にはちょっと程遠いじゃないか。

③県の経済・雇用対策補正予算350億円を大山町はどのように使えるか。

④法人町民税はどのように推移しているか。業種別で顕著な特徴は。

⑤事業所の税の減免について考えているか。企業の誘致も大切だが、優先すべきはある企業の持続、あるいは活性化ではないか。



緊急雇用対策事業による町道の維持管理

**答** (山口町長)

①1次、2次補正、それぞれ地域活性化等のメニューにのっとり予算付けをした。

②県内町村ではトップの「お買い物券」への助成など13項目、4億3千万円にのぼる予算を計上した。

③県と市町村の役割の違いもあるが、町では、緊急雇用対策として約2,100万円、新規の消費者行政対策経費260万円、妊産婦検診の公費負担を5回から14回に充実する。

④平成17年度約1億6千万円、20年度約1億2千万円。4年間で約4千万円の減。

業種別での統計はとっていないが、不況により、21年度は大きな影響を受けると思う。

⑤固定資産税の減免という措置も検討していく。

## これからの舵取りは

### キーワードは 交流と協働



元気いっぱい子どもたち

**問** 生活を実感するのは文化的要素、道路等ののづくり的要素がある。各地区合併してよかったと聞いたことがない。期待感を持った人ほど不満が強い。

町長は難しい舵取りをしてきたわけだが、これからの舵取りは。

①普通建設事業費は減る一方だが、4年間の各地区の投資額は。

②トータルコストを出すことによって無駄なものが浮き上がってくる。その必要性は。

③今後の大山町の舵取りはどうするのか。具体例は。

**答** (山口町長)

①総額112億3,790万円合併協議で合意され、優先的に取り組んだ小中学校事業と下水道事業は、合わせて47億7千万円、これを除いた事業費は64億7千万円。その内訳は中山21億9千万円、名和20億7千万円、大山22億1千万円で、ほぼ均等。

②21年度予算要求に当たってトータルコストの数値化に初めて取り組んだ。無駄のない行政運営ができる方向での取り組みを強化していく。

③常に公平公正を念頭に決断をし、迅速に実行に移してきた。スピード感のある行政運営が求められる時代、この方針はこれらも変わらない。

町民と共に新大山町の指針である「新町まちづくりプラン」を推し進め、持続可能で安全・安心に暮らせる大山町を目指す。キーワード(1)交流による「大山恵みの里づくり計画」の推進等の活力あるまちづくり。

(2)協働による、住民・自治会・行政・議会など誰もがそれぞれの立場を理解し、大山町のために何ができるか議論し、その役割を分かち合い共に汗を流すまちづくりを進める。

## 食材の宝庫は生かされているか

### 工夫をシリーズに対応していく



遠藤幸子議員

**問** 海あり山あり、「食材の宝庫大山町」を県外に情報発信しているが、町営施設での食材活用はどうなっているか。

「大山恵みの里づくり計画」の推進は、本町の

計画」をどのように考えているか。

**答** (山口町長)

「大山恵みの里づくり計画」の推進は、本町の



食材の宝庫大山町

経済活性化に欠かせない重要施策と考えている。道の駅や、各拠点施設の活用、大山ブランドの一層の磨き上げ、大山の更なるPR、おもてなしの意識向上など多面的な取り組みを強力に進め、町民全てが大山の恵みを、今以上に享受できるように考えていく。

町民の皆さんが、計画を理解し参画する意識づけが大切と考える。景観、町内の資源の価値を皆が知り認めること、関心を寄せてもらえる取り組みを更に一層深めていきたいと思っている。

食材の利用、供給は今後、農産物加工施設等において、一次加工の食材の提供をしながら、町内で食材の活用をしていきたい。現場の中でお客様のニーズに対応できるように工夫が必要と考えている。



岡田 聡議員

**問** 本町の基幹産業である農業は、環境保全の面から、また、子供の食育や地域再生などの面からも重要であり、振興を図っていかねばならない。

農水省は輸入食料や飼料が高騰し、食糧需要が不透明な状況にある中で、将来にわたり安定的に食料・飼料を供給していくことは、国の重要な責務



耕作放棄地の活用策は

とされている。さらに、食料自給率低下を受け、その向上に向けた基盤・条件整備の推進も示している。

①食糧供給力の強化と、食料や飼料の自給率向上への取り組みは。

②耕作放棄地や遊休農地の実態とその活用策は。

③農業用水の安定的供給の確保は。

④低炭素社会の構築は。

## 21年度の農業振興策は

### これまでの事業で継続的に

**答** (山口町長)

①チャレンジプランの支援事業。多様な集落営農支援事業等を継続的に活用し支援していく。更に、耕作放棄地の再生利用を推進して栽培面積の確保に努め、生産量の向上に取り組むたい。

②耕作放棄地は、田で約25ha、畑で73ha有る。昨年12月に大山町地域耕作放棄地対策協議会を立ち上げ解消に取り組んでいる。

③新農業水利システム保全対策事業や中山間地直接支払い制度、そして、農地・水・環境保全向上対策事業で対応していく。

④農水産物の輸送距離を短縮でき、CO2削減につながる地産地消がある。町内外で農水産物の直売や学校給食への地元食材の供給など取り組んでいる。



# 農産物加工施設とは？

～大山恵みの里づくり計画の推進～

## 1. 目的、機能は

農産物加工施設は、西伯郡東部地域合併協議会の「まちづくりプラン」や、大山町総合計画に示されたもので、町内の優れた農産物や水産物を集荷し、そこで加工処理を行うことにより、付加価値が高まり、生産者所得の向上や生産意欲の増大、大山ブランドの拡大につなげることを目的に建設する施設です。当然、商品の開発や販路の開拓、販売の促進も必要となってくるので、施設には、調理室をはじめ、レトルト加工室や保存用の冷凍冷蔵庫、さらに独自商品開発のための研究開発室などが計画されています。

大山の豊かな恵みを受けた町内特産品の価値を、より高め、より広めていくための生産者支援拠点施設としての活用と、産業・雇用・所得の活性化効果が期待されます。

建設地は、農産物出荷量の多い中山地区内に予定されていますが、その場所はまだ明らかではありません。

## 農産加工施設の目的と予想される成果

### 目的

1. 一次加工処理施設
2. 調理済食材供給
3. 流通業者向け「大山恵みの里ブランド」商品供給
4. プライベートブランド開発・販売チャンネル開拓

### 予想される成果

1. 生産者の所得の向上
2. 生産意欲の増大
3. 耕作地の拡大（耕作放棄地の解消）
4. 産物の品質向上

## 2. 施設の財源は

総事業費は約2億1,000万円で、その財源に、国の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（1億500万円）と、充当率95%の合併特例債（9,700万円）を充てるなど、有利な財政支援制度を活用した結果、建設時の町の実質負担額は、約800万円となります。その後のランニングコストについては、施設の売上収入などで賄われ、町からの資金援助はありません。



野口俊明議員

## 外出支援サービスの拡充を

### 事業のあり方を整理検討する

答（山口町長）

外出支援サービス事業において、移送車両による人工透析の通院利用限度は現在週2回となっている。人工透析を受ける方も高齢化が進み、車で送迎できる人がいない家庭や孤獨者が増加している。通院利用限度を週3回にできないか。また、医療機関の利用回数を患者の実情に合わせて増やすことができないか。

外出支援サービス事業は利用者の居宅から医療機関との間をヘルパー資格者により送迎するもので社会福祉協議会に委託をしており、対象は要介護状態にある方や障害者の方で、一般の交通機関を利用する事が困難な方としている。

昨年度までは「週1回で一月に4回まで」としていたが、今年度から毎週ご利用いただけるよう



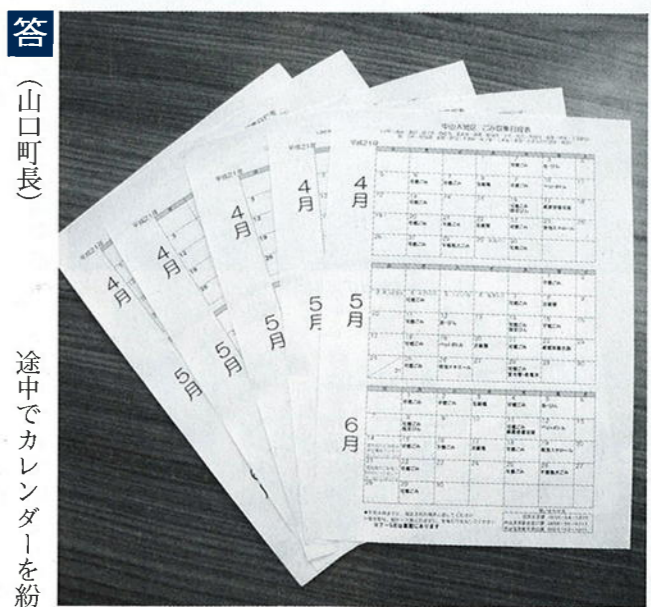
通院の手助けをする社協の職員

にすると共に、「人工透析のための通院は週2回」とし、利用回数の限度を拡大してきた。しかし、昨年末ごろから利用の申し込みに充分対応できない状況が起こり、社協と協議、調整を行っているが、訪問介護等のヘルパー業務増大で、マンパワーの限界もあり対象の拡大は現時点では困難な状況となっている。

またこの事業は、福祉有償運送制度に乗ったものであり、現在委託できる業者は社協以外にないのが現状である。対象の条件を要介護だけでなく要支援も含め運用してきたが、今後は、要支援の方については福祉タクシーの利用を勧め、事業のあり方を整理し、利用回数を可能な範囲で増やす方向で検討していきたい。

## ごみ収集の日程表改善を

見やすく、分かりやすくする



ごみ収集日カレンダー

問 家庭ごみの収集日程について、昨年の10月以降の半年間の予定表が旧中山で配られたが、変更になったために、以前のものより大変見にくいと聞いている。ごみの収集業者の方にも聞いたが、無くしてしまった人が何人もあったり、排出品目の間違いも多くなったというのを聞いている。

答（山口町長）

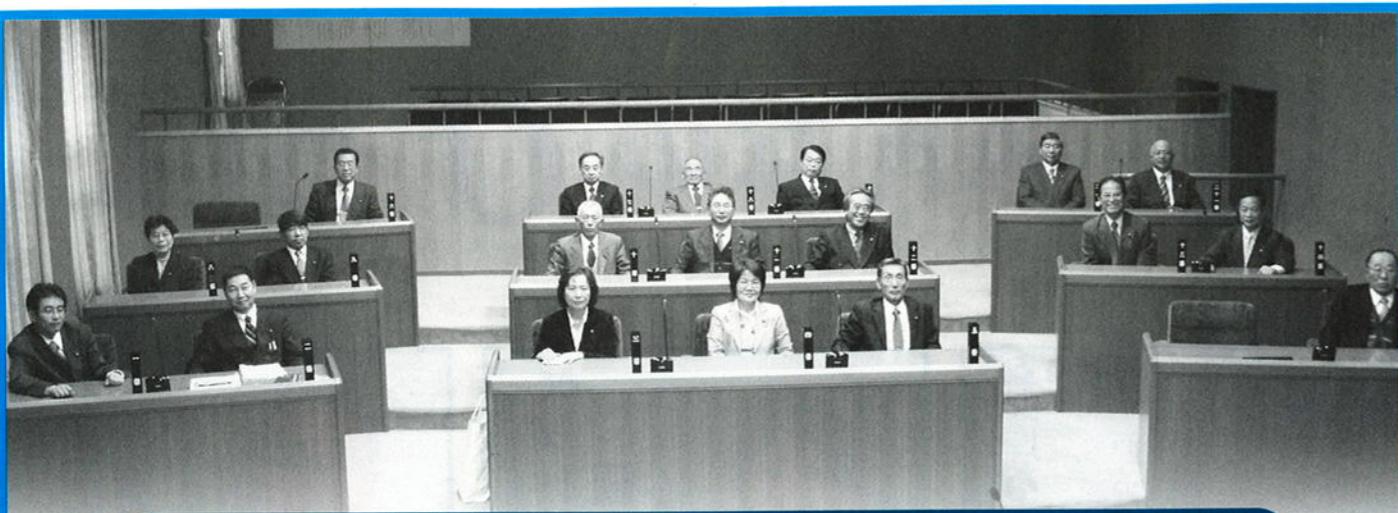
平成19年度までは、各地区が旧町の様式を使用しており、まちまちであった。名和地区では、合併前からカレンダー方式であり、平成20年度に中山地区、平成20年度下半期から中山地区をカレンダー方式に変更した。

また、様式を変更したために、分別、排出品目間違いが多いことについては、実態を調査して理解と協力がいただけるよう、防災無線や町広報誌、3チャンネルなどで、周知、啓発に努めたい。

答（小西住民生活課長）

途中でカレンダーを紛失等された場合には、本庁住民生活課や各支所の総合窓口課に準備しているので利用していただきたい。

より見やすく、分かりやすいカレンダーになるよう、カレンダーの様式自体は、今のものを利用し、紙の質、レイアウト、字の太さ等にメリハリをつけ、より見やすくなるように現在調整をしており、3月19日には、発送したいと考えている。



## 議会議員政治倫理条例を制定しました。

議会議員は、町民の代表としてその品位と名誉をそこなう一切の行為をつつしみ、町民の厳粛な信託に応えるため、常に町民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努めることは、当然の義務であります。しかしながら、昨年発生した、本町議員の法令違反問題を契機に、議員モラルの低下や議会の体質について、町民のみなさんから、厳しいご意見やご指摘をいただきました。

議会は、このような状況を真摯に受け止め、議員モラルの向上と、失われつつあった議会権威の回復を図るべく、2月臨時議会に、大山町議会議員政治倫理条例制定を議員総意で提案し、全会一致で承認しました。

### 大山町議会議員政治倫理条例（抜粋）

- (議員の責務)
- 第2条 議員は、町民の信頼に値する高い倫理性を自覚し、清廉を保持するとともに、倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれた場合には、町民に対し自らすすんで疑惑を解明し、その高潔性を明らかにしなければならない。
- (町民の責務)
- 第3条 町民は、主権者として自らも町政を担い、公共の利益を実現する自覚を持ち、議員に対し、その地位による影響力を不正に行使させるような働きかけを行ってはならない。
- (政治倫理基準)
- 第4条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。
- (1)町民全体の代表者として、品位と名誉をそこなうような一切の行為をつつしみ、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。
  - (2)町民全体の奉仕者として、常に人格と倫理の向上に努め、その地位を利用していかなる金品も授受しないこと。
  - (3)町が行う許可、認可又は請負、業務委託、若しくは一般物品納入に関し、特定の個人、企業、団体等のために有利な取計らいをしないこと。
  - (4)町職員の公正な職務執行を妨げ、その権限又はその地位による影響力を、不正に行使するよう働きかけないこと。
  - (5)町職員の採用に関して推薦及び紹介をしないこと。
  - (6)政治活動に関し、個人、企業、団体等から、政治的又は道義的批判を受けるおそれのある寄附等を受けないこと。
  - (7)会議の厳正な審議を妨げるような審議放棄の言動行動をしないこと。
- 2 議員は、政治倫理に反する事実があるとの疑惑を持たれたときは、自ら潔い態度をもって疑惑の解明に当たるとともに、その責任を明らかにしなければならない。
- (調査請求権)
- 第6条 議員又は町民は、次の各号に掲げる事由があるとき、これを証する資料を添えて、議長に調査を請求することができる。
- (1)政治倫理基準に反する疑いがあるとき。
  - (2)町工事等に関する遵守事項に違反する疑いがあるとき。
- 2 前項の規定により調査の請求がなされたときは、議長は、調査請求書及び添付資料を、次条に規定する大山町議会議員政治倫理審査会に直ちに提出し、調査を求めなければならない。
- (政治倫理審査会の設置等)
- 第7条 議長は、前条の規定による調査請求を受けたときは、大山町議会議員政治倫理審査会（以下「審査会」という。）を設置し、調査を付託しなければならない。

## ～国の経済対策を受けて～ 2月臨時議会

# 地域活性化のために 7億5千万円を補正

2月臨時議会が、2月19日に開会されました。  
この臨時議会には、大山町観光交流センター条例の制定や平成20年度一般会計補正予算など3件の条例改正と3会計の補正予算が、町長から提案され、すべての議案が全会一致で、原案のとおり可決しました。  
平成20年度一般会計補正予算は、昨年から引き続き世界的な金融不安、経済不況での国民の不安を払拭するため、国会で提案された平成20年度第2次補正予算の成立を受けて、本町でも「定額給付金」や「地域活性化・生活対策臨時交付金」「子育て応援特別手当支給事業」など、21年度事業の前倒しを含め、総額7億5,047万4千円が予算化されました。

### 主な地域活性化・生活対策臨時交付金事業

(単位：万円)

事業名	事業内容	総事業費	財源内訳		
			交付金	公共施設整備基金	一般財源
介護予防施設整備事業	健康づくり・介護予防を目的として、中山温泉に水中ウォーキングができる温水プールの整備を行う。平屋建 延べ面積325㎡	1億1,550万円	7,802万円	3,000万円	748万円
国民健康保険直営診療所の医療設備整備事業	地域における医療供給体制の整備、地域医療の充実を図るため、町内診療所にデジタルX線画像診断システム、電子カルテ、超音波画像診断装置等を導入する。	4,314万円	4,314万円	0	0
新型インフルエンザ対策事業	安全・安心なまちづくりを実現するため、いつ発生するかかわからない新型インフルエンザの流行に備え、防護服やマスク等必要な物品を調達・備蓄する。	567万円	567万円	0	0
商工会「定額給付金地域還元特別お買い物券」発行事業	町内の商業機能の再生と地域経済の活性化、家計緊急支援対策として、商工会が発行する「消費者支援特別お買い物券」1口 10,000円のうち、プレミアム部分の2,000円に対して、町が助成する。	200万円	200万円	0	0
旧大山町役場庁舎解体工事	旧大山町役場庁舎を解体撤去し、跡地に若者定住のための賃貸住宅の建設誘致を推進する。	4,277万円	4,277万円	0	0
名和運動公園陸上競技場トラック改修事業	滞在型観光促進の一環として、県内外から広く陸上愛好者のスポーツ合宿誘致を図るため、老朽化した施設の部分的な改修を行うもの。	5,198万円	4,198万円	1,000万円	0
観光交流センター活用事業	地域産業の活性化、観光交流センターへの集客、施設利用の拡大と特産物の紹介等を行うため、観光ガイドマップの整備や情報提供システムの導入を図る。	4,840万円	1,840万円	3,000万円	0
定額給付金給付事業	経済不況のなか、住民への生活支援と地域の経済対策に資するため、平成21年2月1日現在で、町内在住者全員に、12,000円もしくは20,000円の給付金を給付するもの。	3億 695万円	3億 695万円	0	0
子育て応援特別手当交付金事業	3歳以上18歳以下の子が二人以上おり、そのうち第2子以降が、平成14年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた子1人につき、36,000円を支給するもの。	985万円	985万円	0	0



# みんなのひろば

## 学童保育に携わって

松原 慎一



(佐 摩)

私は今年の四月より、大山小学校大山児童クラブの仕事に携わっています。平日の放課後5日間保護者が児童を迎えに來られるまでの時間、子供たちとゲームや遊びを通して、交わる時を持っています。時にはグラウンドや体育館で共に走り回る

こともあり、息切れ切れで、汗ビッシュヨリ！一日を終えた時、体力的な衰えを感じることもありま

ます。遊びや学習を通して児童たちが伸び伸びと育ってくれることが私の願いです。幸いにも先輩指導員の助言と学校側の協力が、日々の活動の支えとなつていきます。

## ペットと

### 観光地

塩田 育美



(高 橋)

我が家には1匹のワンコがいます。5才のマルチーズです。

家族の声に反応して、喜んでしっぽを振ったり首を傾げたりします。そして、寝るときに仰向けになつたりする無防備さ

す。それは、旅行です。観光地では、お店に入

れなかつたり旅館に宿泊できなかつたりすることが多いので、誰かに預けて行かなければなりません。

いる中、子供に配慮した観光地は数多くありますが、ペットに配慮した観光地はまだまだ少ないのが現状です。

観光地としての大山は、将来を見据え特色を出してもらいたいと期待しています。

## 素直な心で

近藤 貴志



(上坪西)

「あなた、ここは禁煙席ですよ。」「あつ失敬」。20年程前になろうか、新幹線の車中での出来事だ

つた。そこが禁煙席である事に気付かなかつたのだらう、注意されるとその人は即座にタバコを消し、非を詫びたのだつた。

みる事が出来るなら間違いに気付き、非を正す事も出来る。また、それこそ人として成長も出来る。素直な心で日々を送りたい。

## あとがき

新町長、新議員が誕生しました。町民とじかに接し、足で歩いて、そして時には町民と共に涙を流す……足と汗と涙の行政が本物の行政だと思えます。議会広報は「議事公開」の原則を積極的に展開して「議会の実態」議員の主張や意見をストレートに「完全公開」するものです。町民の「知る権利」議会側の「知らせる義務」を果たす手段です。次の柱、原則を基本と技術として、編集したいと思えます。

### 議会広報記事の四本柱

1. 一般質問
2. 議案審議の記事
3. 議会活動の記事
4. 住民登場(住民との対話)の記事

### 五原則

1. 編集の自主性
2. 議会情報の完全公開
3. ありのままの公正、客観的な記事
4. 親しみやすい、読者の立場にたつた紙面づくり
5. 住民参加型の編集企画と記事

### 《発行責任者》

議長 荒松 廣志

### 《広報委員会》

- 委員長 西山富三郎
- 副委員長 大森 正治
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記
- 委員 竹口 大紀